

【整形外科】

1 研修目標

(1) 一般目標

頻度の高い整形外科疾患に対する基本的な診療能力、治療能力を身につける。

チーム医療の意味を理解する。

社会人としての礼節・常識の上に、医師としての品格・能力を形成する。

(2) 行動目標

1. 病歴聴取や身体所見を採り、記録してまとめる
2. 診断に必要な検査を計画し、結果から病態を理解しスタッフに説明できる
3. 得られた結果から治療計画を立案し、その根拠を説明できる
4. 指導医の元、患者や家族に疾患の病態それから考え得る治療方針、そこから推測できるメリット・デメリットについて平易な言葉で説明できる。
5. 受け持ち症例を検討会で提示、説明しスタッフとの討論ができる
6. 他科の医師、コメディカルスタッフと意思疎通、良好な協力関係を築ける
7. 基本的な整形外科手術の周術期管理ができる
8. 清潔操作や手術の原則を理解・実践できる
9. 基本的な手技(創傷処置、関節内注射、ギブス・シーネによる外固定、初歩的な侵襲検査など)を習得する
10. 手術の助手として参加し、実際の解剖・機器の取り扱い方・手技について理解する
11. 機会があれば低リスクの症例の執刀を指導医とともに行う

2 研修方略

(1) 研修期間

4週間～研修を行う。

(2) 方法

行動目標	方法	場所	担当者
1, 2, 3, 4, 6	実地診療	外来・病棟	担当医全員
1, 2, 3, 4, 5	カンファレンス	カンファレンス室	担当医全員
9	実地診療	外来・病棟	担当医全員
7	実地診療	病棟	指導医
8, 10, 11	実地診療	手術室	担当医全員

(3) 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月	ミーティング、病棟回診、外来・病棟業務、手術	手術・術後カンファレンス
火	病棟回診、外来・病棟業務、手術	手術
水	外来・病棟業務・手術	手術
木	術前カンファレンス、病棟回診、外来・病棟業務、手術	手術
金	外来・病棟業務・手術	手術

3 研修責任者

総合責任者	副院長	藤 真太郎
関節外科・外傷外科	部長	山岡 康浩
整形外科・脊椎脊髄外科	部長	寒竹 司
手・末梢神経外科	部長	山本 久司

4 研修指導医

脊椎脊髄外科	部長	寒竹 司
脊椎脊髄外科	部長	村上 智俊
手・末梢神経外科	部長	山本 久司
関節外科・外傷外科	部長	山岡 康浩
関節外科・外傷外科	部長	岡崎 朋也

5 評価

卒後臨床研修評価機構の評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに従って評価を行う